



連休が終わりました 本格始動です！

# いいかも

可茂地区家庭教育応援通信

可茂県事務所 振興防災課  
家庭教育推進専門職 安田 早由里  
〒505-8508  
美濃加茂市古井町下古井 2610-1  
TEL：0574-25-3111 内線 208  
FAX：0574-25-3934  
令和4年5月発行 第2号

可茂地区トレジャーワード

## 「I (アイ) C (チャレンジ) T (トライ) ・親磨きで一步前進！」



新緑の清々しさに、心洗われる季節の到来です。黄色い安全旗を持って通学班登校をする子ども達の姿を目にすると、一つ大きくなったことへの自信と、新たな年度に懸ける意気込みのようなものが伝わってきます。「私の後ろについてきてね」、子ども達の全身からみなぎる意欲を私たち大人がしっかりと受け止め、成長につないでいきたいものです。今の清新な心持を、どれだけ長く保つことができるか。「初心忘るべからず」です。子どもも、大人も、この言葉を自らに言い聞かせ、前を向いて進んでいきたいものです。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、現場では、PTA 総会や授業参観等を止む無く中止したり、代替の方法で進めたりしていると聞いています。残念ですが、仕方ありません。誰のせいでもなく相手はコロナですから。「のびのびと過ごせる日はきっと来ます」そんな思いで、今年度の活動を本格的に進めてまいります。

令和4年度の可茂地区は、見出しの言葉をトレジャーワードとします。子ども達は、学校で学んでいます。私たち親も、周囲の大人たちも負けてはいられません。学びを続け、一步前進を目指します。今年度も当面、多くの方々が一同に集まることは難しい状況が続きそうです。そんな時は、学びのツールの一つとして、ICT を活用されることをお勧めします。少人数でできる、家庭でもできる、自分の都合のよい時間にできる。機器の扱いに堪能な方、苦手意識をもっておられる方、お一人お一人にチャレンジ (C) ・トライ (T) していただけるよう、情報提供をしてまいります。活動の主体は「私 (I)」です。あなたが取り組むことが、みんなで取り組むことに結びつきます。大いに自分を磨き、一步前進させましょう。

### 1 家庭教育学級リーダー研修会 (オンライン開催)

幼・保 (所) ・こども園家庭教育学級リーダー研修会 (9:00より入室可)

令和4年5月20日 (金) 10:00~11:20

(9:00~9:15の間に必ず接続状態にしてください。)

小・中学校家庭教育学級リーダー研修会 (13:00より入室可)

令和4年5月26日 (木)

(13:00~13:15の間に必ず接続状態にしてください。)



### 2 事前配信テスト

幼・保 (所) ・こども園対象 5月12日 (14:00~14:15までに入室)

(14:15 会話等の一斉確認)

小・中学校対象 5月12日 (15:00~15:15までに入室)

(15:15 会話等の確認)

※小・中学校については、昨年度までの実績を踏まえ、接続に不安を感じている学校のみで可とします。

リーダー研修会が、歩み出しの第一歩です。お世話になります！

## 家庭教育学級とは

岐阜県家庭教育支援条例には、「家庭はすべての教育の出発点」とあります。家庭教育学級は、家庭での子育ての責任者である保護者を対象とする「親の学びの場」です。親自身が学び成長するとともに、学びを通して子育ての仲間を作り、そのネットワークを広げることをめあてに取り組みます。

家庭教育学級は、「こうであらねばならない」という決まったものではありません。学校や園の先生、市の家庭教育担当者の支援を得ながら、楽しくやりがいのある家庭教育学級を創り上げましょう。

### <家庭教育学級・計画立案のポイント>



	チェック ✓	家庭教育学級計画立案チェック
1	<input type="checkbox"/>	今年度のテーマを決定しましょう。(家庭教育学級は、「親の学びの場」です。年間を通して何を大切にしていくか、どんな姿を目指すかという視点で考えましょう。) ※テーマの例：楽しく子育て！ 深めよう親子の絆！
2	<input type="checkbox"/>	計画の中に、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を位置付けてみましょう。また、年間のテーマと活動をつなげる工夫をしてみましょう。
3	<input type="checkbox"/>	開催日時や会場は、できるだけ保護者が参加しやすいように設定しましょう。
4	<input type="checkbox"/>	講演会 + 在宅取組型など、型を組み合わせた学習形態を工夫してみましょう。
5	<input type="checkbox"/>	学習内容は、参加者の「学ぶべきこと」「学びたいこと」の両方を考慮した内容を取り入れましょう。(年度途中での変更もできるように柔軟に。)
6	<input type="checkbox"/>	学習内容に応じた講師(指導者)を選びましょう。講師依頼は、スムーズにできそうですか。(お困りの時は、担当者にお問い合わせください。)
7	<input type="checkbox"/>	参加意欲をもってもらえる開催案内、学習のまとめなどの広報活動を、誰がどのように行っていくか相談しておきましょう。
8	<input type="checkbox"/>	家庭教育学級運営マニュアル「みんなで子育て」(令和改訂版)や、家庭教育プログラム「みんなで子育てⅡ・Ⅲ・Ⅳ」を活用できそうですか。

このチェック項目に沿って、計画の立案や見直しをしてみましょう。

家庭教育学級5つの型 これらの型をバランスよく、取り入れましょう。

- A 園・学校行事参加型(授業参観、PTA 諸活動、入学説明会等)
- B 体験活動参加型(ヨガ・アレンジメント・見学会等)
- C 講演会型(テーマに即した講師を依頼し、専門的な話を聴く。)
- D 子育てサロン型(小グループで和気あいあいと、互いの経験や悩みなどを交流する。)
- E 在宅取組型(「話そう！語ろう！わが家の約束」運動・ICT 動画の活動等)

必要に応じて、年度途中で計画を見直したり、変更したりすることがあるかもしれません。状況に応じて柔軟な対応を！